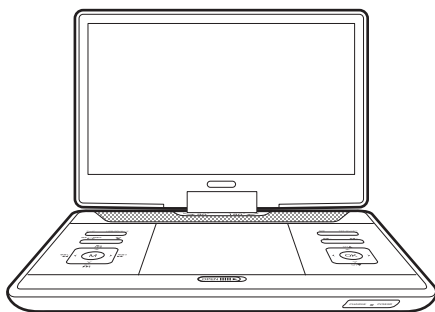


14型フルセグ対応 ポータブルDVDプレーヤー


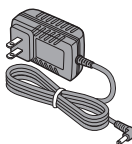
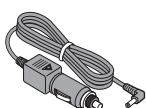
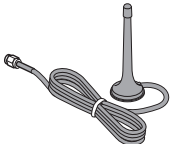


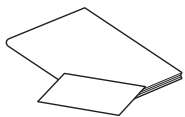
EA-PD14FSA 取扱説明書



はじめにお読みください

このたびは弊社の製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みにになり、内容を十分理解されたうえ、正しくご使用ください。お読みにになったあとは、いつでも取り出せる所に大切に保管してください。

付属品 以下の付属品がすべて揃っているかご確認ください。

			
リモコン 1個	ACアダプタ 1個	カーアダプタ 1個	ワンセグ用アンテナ 1本
			
AVケーブル 1本	miniB-CASカード 1枚	取扱説明書(本書)・保証書 各1部	

※本書に記載のイラストは説明のため、実際のものとは異なる場合があります。

ご使用の前に

準備する

基本の操作

便利な機能

テレビを視聴する

設定を変える

その他

もくじ

ご使用の前に 3	
安全上のご注意 3	
ディスクについて 5	
準備する 8	
各部のなまえ 8	
リモコンの準備 11	
リモコンに電池を入れる 11	
リモコンの使いかた 11	
本体の準備 12	
電源について 12	
テレビや外部機器をつなぐ 15	
画面の角度や方向を変える 16	
基本の操作 17	
電源を入/切する 17	
ディスクを挿入する/取り出す 17	
DVDを再生する 17	
早戻し・早送りする 18	
再生を一時停止する 18	
再生を停止する 18	
前、または次のチャプターに移動する 19	
音量を調節する 19	
メニューを表示する 19	
DVD・外部入力・テレビを切り替える 20	
便利な機能 21	
情報を表示する 21	
音声を切り替える 21	
字幕を切り替える 21	
DVD再生中にできるその他の操作 22	
スロー 22	
リピート 22	
ズーム 22	
アングル 22	
画面サイズを切り替える 23	
液晶画面を消す 23	
音楽CDを再生する 23	
CD再生中の操作 24	
リピート 24	
音声を切り替える 24	
ディスク情報を表示する 25	
数字ボタンで番号を選び再生する 25	
USBメモリ/SDカードや データディスク内のファイルを再生する 27	
USBメモリ/SDカードを挿入する 27	
USBメモリ/SDカードを取り出す 27	
MP3/WMA・JPEGファイルを再生する 29	
テレビを視聴する 31	
アンテナを接続する 31	
miniB-CASカードを挿入する 32	
基本的な使いかた 32	
TV(テレビ)モードに切り替える 32	
地上デジタル放送視聴の準備 32	
チャンネルを選ぶ 33	
チャンネルリストで番組を選ぶ 33	
番組表・番組内容を表示する 34	
音声を切り替える 34	
字幕を切り替える 34	
チャンネルスキャンをする 34	
地上デジタル放送の設定をする 35	
受信方法設定 36	
フルスキャン 36	
言語 36	
映像設定 36	
PG設定(視聴年齢制限設定) 37	
パスワード変更 37	
工場初期化 37	
設定を変える 38	
設定メニューを開く・操作する 38	
メニュー画面の見かた 38	
設定メニューを開く 39	
操作・設定のしかた 39	
一般設定 40	
音声設定 41	
デジタル設定 41	
映像設定 42	
選択設定 43	
その他 45	
困ったときは 45	
おもな仕様 48	
免責事項 49	
アフターサービス 52	



ご使用の前に

安全上のご注意




ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みにになり、内容を十分理解されたうえ、正しくご使用ください。お読みになったあとは、いつでも取り出せる所に大切に保管してください。










絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。







	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。		禁止の行為であることを告げるものです。		行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
-----------------------------------------------------------------------------------	------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------	---------------------	-----------------------------------------------------------------------------------	-------------------------

 警告				
 ACアダプタを抜く	異常・故障時には直ちに使用を中止する ・ACアダプタやACアダプタコードが異常に熱い。 ・ACアダプタやACアダプタコードを動かすと通電したりしなかったりする。 ・異臭や異音がある。 ・煙が出ている。 ・本体が変形したり、異常に熱くなる。 火災・感電の原因になります。 このようなときはすぐに電源を切りACアダプタをコンセントから抜いて販売店または弊社お客様サポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。	 分解禁止	お客様自身による修理・改造はしない 感電の原因になります。内部の点検・修理は販売店または弊社お客様サポートセンターにご依頼ください。	
	 禁止	表示された電源電圧、交流 100V 以外の電圧で使用しない 火災・感電の原因になります。	 禁止	ACアダプタ・ACアダプタコードをキズつけたり、破損させない また、重いものを載せたり、加熱したり、引っ張ったりしない コードが破損し、火災・感電の原因になります。
	 必ず守る	ACアダプタのコードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店または弊社お客様サポートセンターに交換を依頼する そのまま使用すると火災・感電の原因になります。	 禁止	ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。
 分解禁止	機器を分解しない 火災・感電の原因になります。	 禁止	ACアダプタ・ACアダプタコードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない 火災・感電の原因になります。	

警告 (つづき)

 ACアダプタを抜く	<p>万一、機器を落としたり、破損した場合は、電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜く</p> <p>そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。販売店または弊社お客様サポートセンターにご連絡ください。</p>	 禁止	<p>機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かない</p> <p>こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因になります。</p>
 禁止	<p>この機器の開口部(ディスクプレーヤー部など)から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだり押し込んだりしない</p> <p>火災・感電の原因になります。とくに小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。</p>	 ACアダプタを抜く	<p>万一、水や異物が機器内部に入った場合は、本体の電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜く</p> <p>そのまま使用すると火災・感電の原因になります。販売店または弊社お客様サポートセンターにご連絡ください。</p>
 水ぬれ禁止	<p>水が入る、ぬれるような場所では使用しない</p> <p>火災・感電の原因になります。海岸、水辺では使用しないでください。</p>	 水ぬれ禁止	<p>風呂場では使用しない</p> <p>水などをかけないでください。火災・感電の原因になります。</p>

注意

 ACアダプタを抜く	<p>お手入れの際は安全のためACアダプタをコンセントから抜いておこなう</p> <p>長期間ご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプタをコンセントから抜く</p> <p>移動させる場合は、安全のため電源を切り、必ずACアダプタをコンセントから抜いておこなう</p> <p>ACアダプタのコードがキズつき、火災・感電の原因になります。</p>	 禁止	<p>直射日光の当たる所や自動車内、発熱器具の近くなど高温になる所に放置しない</p> <p>機器に障害を与え、火災・感電の原因になります。</p>
 禁止	<p>ACアダプタを抜くときは、ACアダプタコードを引っ張らない</p> <p>感電・破損の原因になります。</p>	 禁止	<p>次のような使いかたはしない</p> <p>火災の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本体を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む。 ・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。
 ぬれ手禁止	<p>ぬれた手でACアダプタを抜き差ししない</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>	 設置注意	<p>キャビネットなど閉めきった所に入れて使うときは、換気のため本機の周り約3cm以上あげる</p>
 禁止	<p>ACアダプタコードを発熱器具に近付けない</p> <p>コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。</p>	 禁止	<p>湿気やホコリの多い場所に置かない</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>
 禁止	<p>機器に乗らない</p> <p>倒れたり、こわれたりしてけがの原因になります。とくに小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。</p>	 禁止	<p>調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かない</p> <p>火災・感電の原因になります。</p>
 禁止	<p>本体を落としたり、振動を与えない</p> <p>故障・火災・感電の原因になります。</p>	 禁止	<p>ひび・そり・ハート形や八角形などの特殊形状のディスクは使用しない</p> <p>故障の原因になります。</p>
 禁止	<p>本製品の上に火のついたろうそくなどの裸火を置かない</p> <p>火災の原因になります。</p>	 禁止	<p>業務用として使用しない</p> <p>本製品は一般家庭における屋内での使用を想定した製品です。業務使用や屋外では絶対に使用しないでください。</p>

ディスクについて

再生できるディスクの種類

本機は以下のディスクをアダプタ無しで再生できます。

	ロゴマーク	ディスクサイズ	内容
DVDビデオ		12cm	●映像+音声
音楽用CD		12cm	●音声
CD-R/RW		12cm	●音声 (CD-DA) ※ファイナライズ処理をおこなわないと再生できません。 ●音声 (MP3/WMA) ●静止画 (JPEG)

※DVD-R・DVD-RW は DVD ディスクの品質、レコーディング機器の品質により、再生できない場合があります。

本機で再生できないディスク

DVD-ROM ・ DVD-RAM ・ DVD-Audio は再生できません。

コピーコントロール CD

本機は音楽 CD 規格に準拠して設計されています。CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証はできません。

本機で再生できる

DVD のリージョンコード(地域番号)

DVD プレーヤーと DVD ビデオディスクは発売地域ごとにリージョンコード (地域番号) が決められています。

本機はリージョンコード “2” (または “2” を含むもの)、または “ALL” と記載されたディスクの再生ができます。

JPEG の再生

JPEG とは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式の一つです。本機では CD-R ・ CD-RW ・ CD-ROM に記録されている JPEG ファイルを再生することができます。

※記録方式によっては再生できない場合があります。

※ISO9660 レベル 1 ・ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマットに準拠して記録したディスクを使用してください。

ディスク構成について

DVD ディスクは通常 “タイトル” で分けられ、さらにタイトルを “チャプター” で分けています。また、CD の場合は “トラック” で分けています。






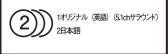
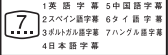






タイトルやチャプター、トラックには順に番号がつけられています。これらの番号を “タイトル番号”、“チャプター番号”、“トラック番号” と呼びます。

※DVD によっては番号が記録されていないものがあります。

ディスクについて (つづき)

DVD に表示されているマークについて

DVD や CD のディスクやパッケージには以下のようなマーク (記号) が表示されており、そのディスクに記録されている映像や音声のタイプ・機能をあらわしています。

ロゴマーク	内 容
	そのディスクに記録されている総時間 ※APPROX. は「概略」の意味です。
	ディスクの種類と映像の記録方式
	カラー映像
	音声言語の数および種類
	字幕言語の数および種類
	画面のアスペクト比
	リージョンコード (番号)、記録されている映像のテレビジョン方式、対応している地域
	マルチアングル対応 ※複数台のカメラで撮影された映像が含まれるソフトで、アングルを変えて見ることができます。中の数字はアングル数をあらわしています。
	DVD の標準音声タイプ ※モノラルやステレオで記録されているソフトもあれば、5.1ch でサラウンドで記録されているものもあります。ドルビーデジタル (5.1ch サラウンド) で記録されているソフトでは、それぞれ5つのチャンネルごとに音声が記録されており、サブウーファーから出力される低音も記録されています。
	音声の記録方式と種類
	このディスクが許諾されている著作権の範囲 ※なお「複製不能」と書かれている場合、何らかのコピープロテクション技術が使われていることを意味します。

ディスクについて (つづき)

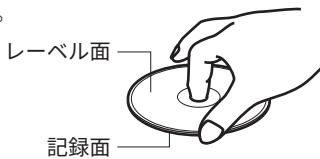
ディスクの保管

- 下記のような場所には保管しないでください。ディスクが使えなくなることがあります。
 - ・ 直射日光が当たる場所
 - ・ 湿気やホコリのある場所
 - ・ ヒーターの近くなど熱気や熱風の当たる場所、温度や湿度の高い所
- 使用しないときは、ディスクを本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

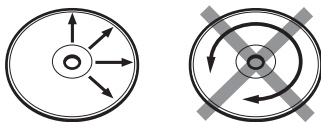


ディスク取り扱い上のご注意

- 記録面に触れないように持ってください。

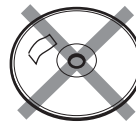


- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、やわらかい布などで、放射状に軽く拭き取ってください。

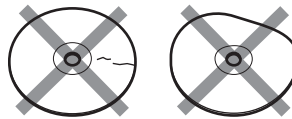


ディスク使用上のご注意

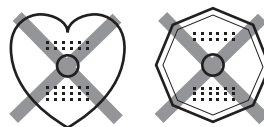
- 再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですので絶対に使用しないでください。
- 記録面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



- ひびやそりのあるディスクは絶対に使わないでください。



- ハート形や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となります。



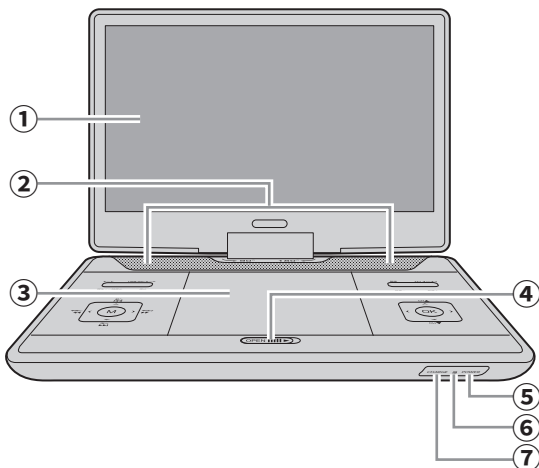
温度の変化により水滴が付いたとき

使う前に、やわらかい布などで、必ず放射状に軽く拭き取ってください。水分が完全に乾いてからお使いください。

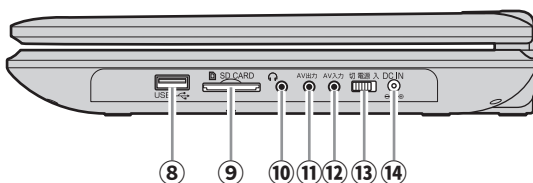
準備する

各部のなまえ

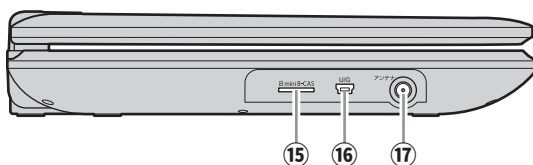
準備する



右側面



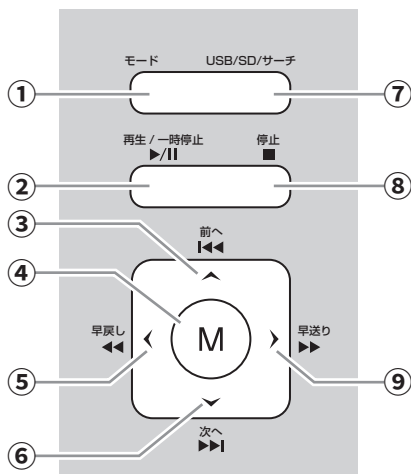
左側面



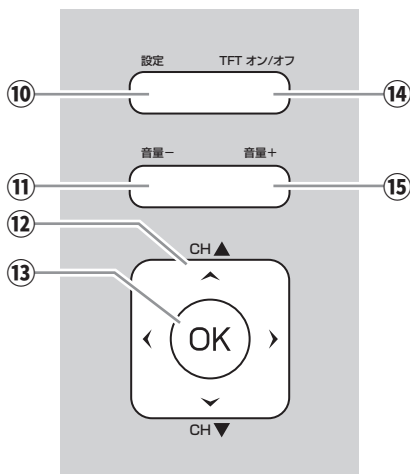
- ① **液晶画面**
画面を直立させた状態で時計方向に180°、反時計方向に90°回転させることができます。
- ② **スピーカー**
- ③ **ディスクカバー**
- ④ **オープン**
(ディスクカバー開く)ボタン
ディスクカバーを開きます。
- ⑤ **電源ランプ**
- ⑥ **リモコン受光部**
リモコンの操作はこの部分に向けておこなってください。
- ⑦ **充電ランプ**
- ⑧ **USB 端子**
USBメモリを挿入します。
- ⑨ **SD カードスロット**
SDカードを挿入します。
- ⑩ **イヤホン端子**
イヤホンを接続します。
- ⑪ **AV 出力端子**
外部機器への出力端子です。
- ⑫ **AV 入力端子**
外部機器からの入力端子です。
- ⑬ **電源スイッチ**
本機の電源を入/切します。
- ⑭ **DC IN 12V 端子**
ACアダプタを接続します。
- ⑮ **miniB-CAS カードスロット**
miniB-CASカードを挿入します。
- ⑯ **U/G 端子**
(ソフトウェアアップグレード用)
※お客様が使用することはございません。
- ⑰ **アンテナ入力端子**
地上デジタル放送受信用アンテナケーブルを接続します。

各部のなまえ (つづき)

本体操作部



- ① **モード**
動作モード (DVD/外部入力/テレビ) を切り替えます。
- ② **再生/一時停止**
再生中に押すと、その場で一時停止します。
停止または一時停止中に押すと、再生を開始します。
- ③ **前へ (⏮)**
再生中のひとつ前のチャプターを再生します。
- ④ **M (メニュー)**
DVDビデオのメニュー画面を表示します。
- ⑤ **早戻し (⏪)**
再生中に押すと、早戻しします。
- ⑥ **次へ (⏩)**
再生中のひとつあとのチャプターを再生します。
- ⑦ **USB / SD / サーチ**
USBメモリ・SDカードを切り替えます。
テレビ視聴時
チャンネルスキャンをおこないます。
- ⑧ **停止**
再生中に押すと、再生された位置で停止します。
もう一度押すと、完全に停止します。
- ⑨ **早送り (⏭)**
再生中に押すと、早送りします。



- ⑩ **設定**
本機の設定画面を開きます。
テレビ視聴時
テレビモードの設定画面を開きます。
- ⑪ **音量-**
音量を下げます。
- ⑫ **方向 (▲/▼/◀/▶)**
DVDメニュー、設定画面などでカーソル (選択部分) を移動します。
テレビ視聴時
CH▲
次のチャンネルを選局します。
CH▼
ひとつ前のチャンネルを選局します。
- ⑬ **OK (決定)**
DVDメニュー、設定画面などで、選択されている部分を確定します。
- ⑭ **TFT オン/オフ**
液晶画面の表示/非表示を切り替えます。
- ⑮ **音量+**
音量を上げます。

準備する

リモコンの準備

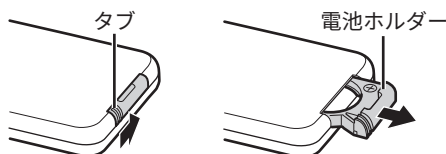
リモコンに電池を入れる

- リモコンにはあらかじめ電池が入っています。ご使用前に絶縁フィルムを引き抜いてください。



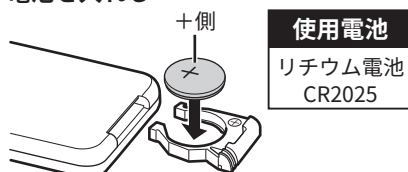
■ 電池交換のしかた

1 電池ホルダーを引き出す



タブを内側に押さえながらくぼみにツメを引っ掛けて引き抜きます。

2 電池を入れる



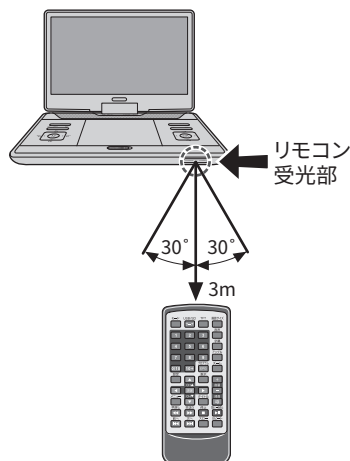
古い電池を取り出し、新しい電池を＋（プラス）側を上にして電池ホルダーに入れます。

3 電池ホルダーを差し込む

リモコン本体に電池ホルダーを元通りに差し込みます。

リモコンの使いかた

- リモコンは本体正面のリモコン受光部に向けて操作してください。
- リモコンの受光範囲は受光部より約3m以内、角度は上下左右30度以内です。



準備する

⚠ 注意

電池の誤った使いかたは、液漏れや破裂の原因になります。以下の点にご注意ください。

- 長時間ご使用にならない場合は、電池をリモコンから取り出しておいてください。
- 電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しないでください。
- コイン形電池は幼児の手の届く場所に置かないでください。お子様がコイン形電池を飲み込んだ場合、中毒の原因になります。もし飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

本体の準備

電源について

本製品は、ご家庭の AC100V 電源、自動車用電源(DC12V)、内蔵充電式バッテリーパックで使える「3 電源方式」です。

準備する

AC アダプタで使う(家庭用 AC100V 電源)

⚠ 注意

AC アダプタの誤った使いかたは、火災や感電、故障の原因になります。以下の点にご注意ください。

- 付属の AC アダプタ以外のものを使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- AC アダプタは AC100V 50/60Hz のコンセントに接続してください。
- AC アダプタを接続するときは、本機の電源を切ってください。
- ご使用にならない場合は、AC アダプタをコンセントから抜いてください。

1 本体の電源スイッチを切る

電源が切れます。

2 AC アダプタプラグを本体に接続する

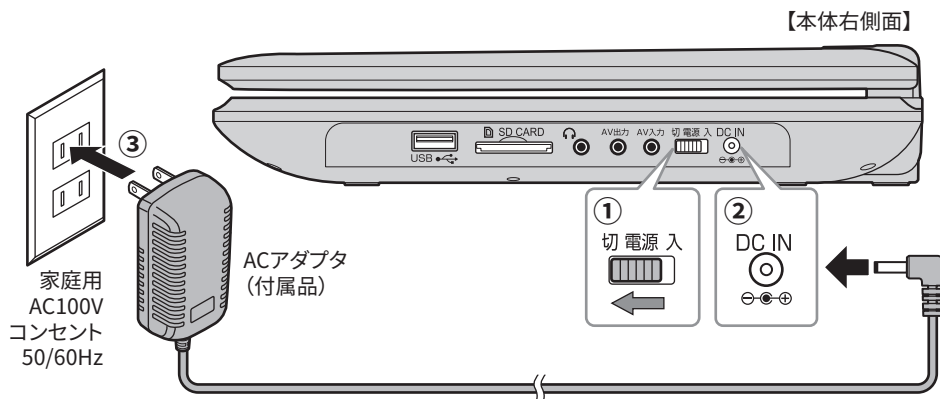
AC アダプタのプラグを本体右側面の DC IN 12V 端子に接続します。

3 AC アダプタをコンセントに接続する

AC アダプタをコンセント (AC100V) に接続します。

※ 電源周波数は 50Hz または 60Hz のどちらの地域でもそのままご使用できます。

※ 使わないときは、コンセントから AC アダプタを抜いてください。



本体の準備 (つづき)

カーアダプタで使う(自動車用 DC12V 電源)

⚠ 注意

カーアダプタの誤った使いかたは、火災や感電、故障の原因になります。以下の点にご注意ください。

- 付属のカーアダプタ以外のもを使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- カーアダプタは必ず DC12V の電源に接続し、DC24V の電源には絶対に接続しないでください。火災・感電・故障の原因になります。
- カーアダプタを接続するときは、本機の電源を切ってください。
- ご使用にならない場合は、カーアダプタをシガーライターから抜いてください。

車で使用するときのご注意

- 車で使うときは仮固定してください。仮固定せずに使うと急ブレーキなどで本機が移動し、けがや運転の妨げになり危険です。
- 本製品を車に恒久的に取り付けしないでください。また、運転の妨げとなる場所、エアバッグが作動するときの妨げとなる場所に置かないでください。事故やけがの原因となります。
- 運転する人は運転中に画面を見たり、操作をしないでください。事故の原因となります。

準備する

1 本体の電源スイッチを切る

電源が切れます。

2 カーアダプタプラグを本体に接続する

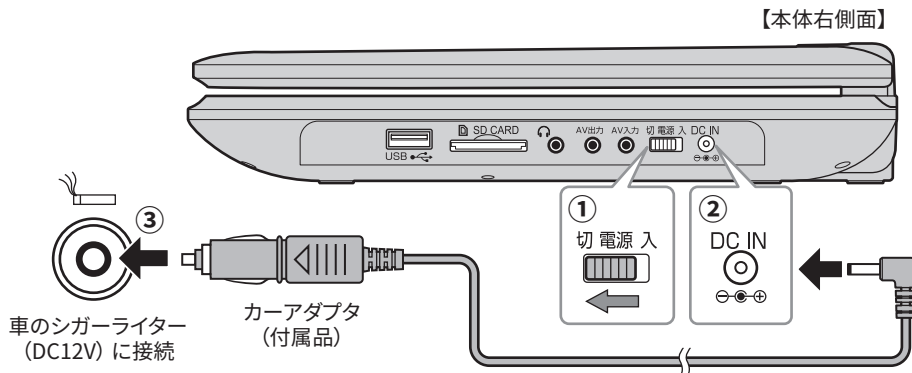
カーアダプタのプラグを本体右側面の DC IN 12V 端子に接続します。

3 カーアダプタを車のシガーライターに接続する

カーアダプタをシガーライター (DC12V) に接続します。

※ 使わないときは、シガーライターからカーアダプタを抜いてください。

※ 車種によっては DC12V のシガーライターでない場合がありますので、接続前に必ずご確認ください。



本体の準備 (つづき)

内蔵バッテリーに充電して使う

⚠ 注意

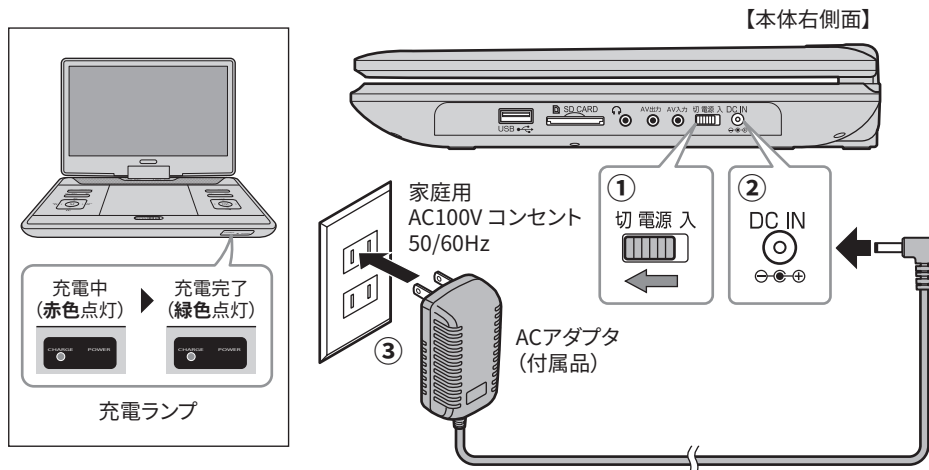
準備する

内蔵充電池および AC アダプタの誤った使いかたは、火災や感電、故障の原因になります。以下の点にご注意ください。

- 付属の AC アダプタ以外のものを使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- AC アダプタは AC100V 50/60Hz のコンセントに接続してください。
- AC アダプタを接続するときは、本機の電源を切ってください。
- ご使用にならない場合は、AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 充電が完了したら、速やかに AC アダプタをコンセントから抜いてください。
(充電が完了すると、充電ランプが赤色の点灯から緑色の点灯に切り替わります。)



1 「AC アダプタで使う(家庭用 AC100V 電源)」(⇒ 12 ページ)の手順で AC アダプタを接続する

充電が開始され、充電ランプが赤色に点灯します。



2 充電が完了すると、充電ランプが緑色の点灯に変わる

AC アダプタを抜いてください。

- 充電時間は、電源を切った状態で約 3 時間 30 分です。
満充電の状態での使用時間の目安は、DVD 連続再生で約 3 時間、フルセグ放送連続視聴で約 3 時間です。
 - 電池の充電量が少なくなると画面に “” が点滅表示されます。
- ※ AC アダプタを使わないときは、電源コンセントから AC アダプタを抜いてください。
- 

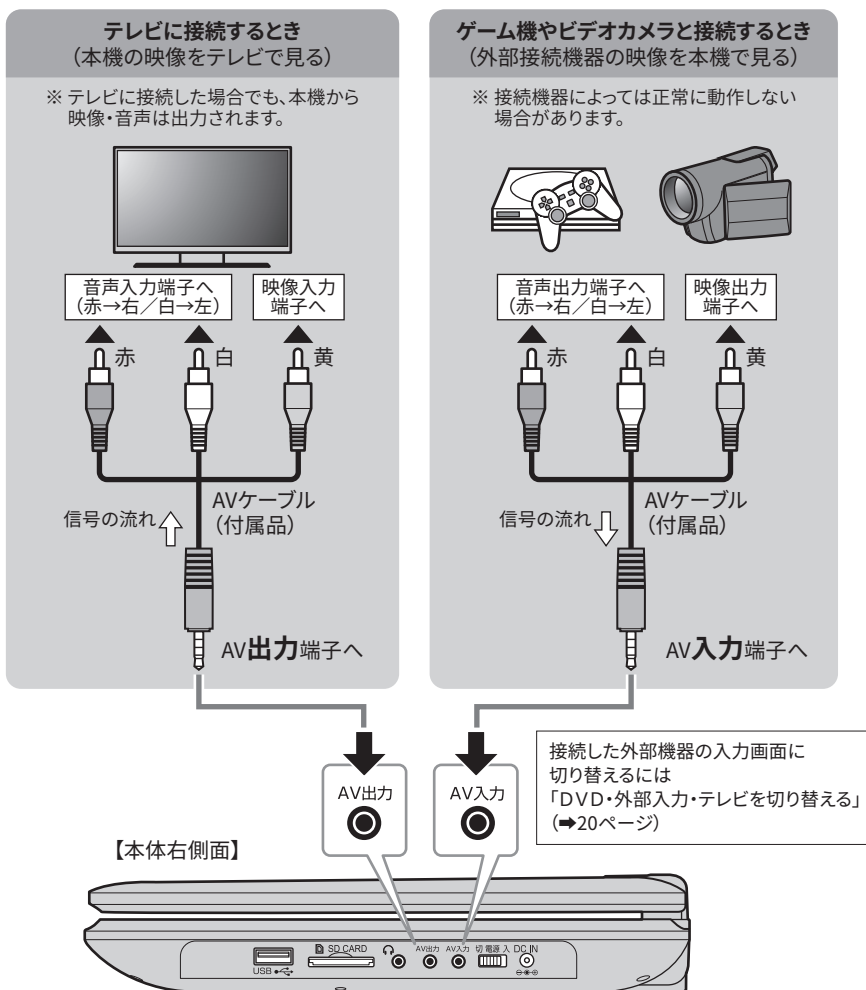
本体の準備 (つづき)

テレビや外部機器をつなぐ

機器を接続するときは、必ず電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いておこなってください。

- ※ 音量を調節するときは、本機の音量も調節してください。本機の音量が小さかったり消音になっていると、テレビからの音が小さかったり、出なかったりします。
- ※ 必ず付属の AV ケーブルをご使用ください。4 極のミニプラグ (映像 / 音楽) はメーカーにより配線仕様が異なるため、他社のケーブルを接続した場合、映らないことがあります。
- ※ AV ケーブルを接続する際は、各端子の奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まれていないと画面に映らない、音声が聞こえないなどの場合があります。
- ※ テレビや外部機器の接続の詳細については、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

準備する



本体の準備 (つづき)

画面の角度や方向を変える

本機は液晶画面を見やすい角度や方向に調節することができます。

準備する

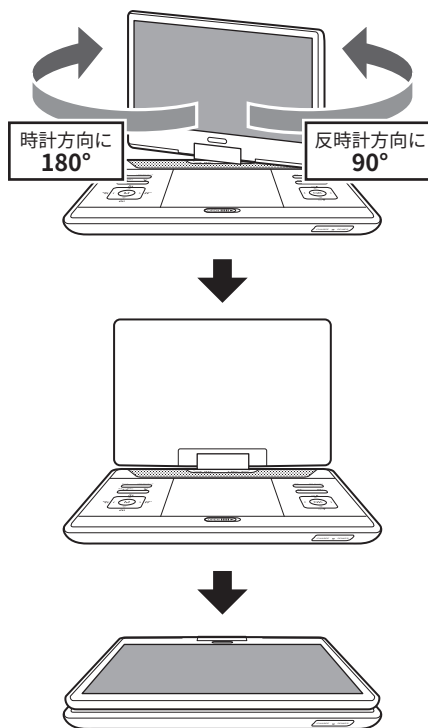
液晶画面を真っ直ぐに起こした状態にし、本体をしっかりと押さえながら角度を調節します。

(時計方向に 180°、反時計方向に 90°まで)

※液晶画面を押さないでください。

※調節範囲以上に回さないでください。故障の原因になります。

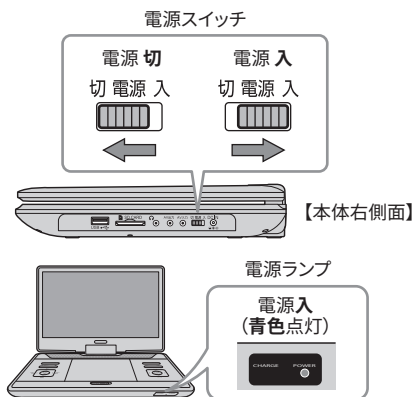
車載用として使うときなどは、図のように時計方向に 180°回転させたあと、液晶画面を倒します。



基本の操作

電源を入／切する

電源が入ると、本体正面下部の電源ランプが青色に点灯し、画面が表示されます。

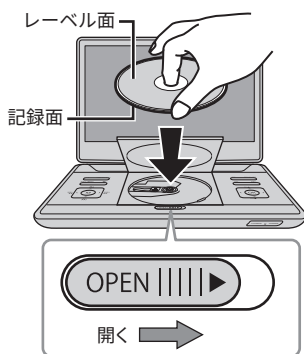


※使わないときは電源をお切りください。

ディスクを 挿入する／取り出す

OPEN IIIIIII▶ を▷方向にスライドさせる

ディスクは下図の向きでトレイのくぼみに合うようにセットしてください。



DVDを再生する

再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(▶5ページ)をご覧ください。

1 OPEN IIIIIII▶ を▷方向にスライドさせてディスクカバーを開き、ディスクをセットする

2 ディスクカバーを閉める

3 本機の電源を入れる

ディスクの読み込みが始まります。読み込みが完了すると、自動的に再生が始まります。

※ 再生が始まらない場合は、【再生／一時停止】を押してください。

※ ディスクによってはメニュー画面が表示されます。

【▲▼◀▶】で項目を選び、【決定】を押してください。

基本の操作

メモ

- ボタン操作で無効な操作をすると、画面左上に⊘が表示されます。



早戻し・早送りする

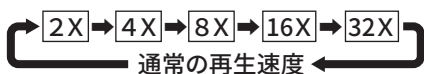
(再生中または一時停止中に)

 または  ボタンを押す

早送り、または早戻し再生が始まります。
画面には速度が表示されます。



ボタンを押すたび次のようになります。



※早送り・早戻し中は、音声が出ません。

基本
の
操
作

再生を一時停止する

(再生中に)  を押す



もう一度押すと再生を再開します。

※本体の操作ボタンでも同様に操作できます。

再生を停止する

(再生中に)  を1度押す

再生が停止され、表示が出ます。



もう一度押すと、再生が完全に停止します。



※本体の操作ボタンでも同様に操作できます。

✓ポイント

再生を止めた所からふたたび再生する(ラストメモリー機能)

本機は再生中に【停止】を一度押すと、再生が停止されます。
画面に「再生ボタンを押して継続」と表示されます。

この状態で電源を切ると、次回電源を入れたとき、止めた所からふたたび再生が始まります。

- 再生の始まり(位置)は、若干ずれることがあります。
- ラストメモリー機能を無効にするときは(⇒40ページ)

※ディスクによっては、この機能は使えません。

前、または次の チャプターに移動する

(再生中または一時停止中に)

前へ または 次へ
◀▶ を押す



前、または次のチャプターに移動して再生を始めます。

音量を調節する

+ または 音量
- を押す



+ を押すと音が大きくなり、- を押すと小さくなります。
音量レベルは0(最小)～20(最大)です。

※本体の操作ボタンでも同様に操作できます。

消音

消音
🔇 を押す

一時的に音を消します。
もう一度押すと元の音量に戻ります。
消音中は画面に表示が出ます。



メニューを表示する

DVDによっては再生が始まらずに、メニュー画面が表示されることがあります。

メニュー
□ を押す

メニュー画面が表示されます。




基本の操作

※図は一例です。ソフトにより、表示内容は異なります。

メニューを操作するには

1 ◀ ▶ ▲ ▼ でメニューを選択する

2 決定 を押す

- さらにメニュー項目があるときは、1と2の操作を繰り返します。
- を押すと「タイトルメニュー」が表示されます。

※ディスクによっては、この機能は使えません。

DVD・外部入力・テレビを切り替える

本機ではDVD、接続した外部入力機器からの入力画面、地上デジタル放送（ワンセグ・フルセグ）を切り替えて表示できます。

モード
を押す

ボタンを押すたび次のように切り替わります。

※ディスクの読み込みなどで切り替えに時間がかかる場合があります。

基本の操作

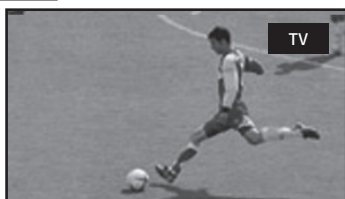
DVD DVD映像
(USBメモリ/SDカード/データディスク)



AV IN 外部接続機器からの入力



TV 地上デジタル放送(ワンセグ・フルセグ)



DVD に戻る

● ディスクトレイにメディアが入っていないときに「DVD」に切り替えた場合は、以下の動作となります。

- ・ 「ディスクがありません」と表示されます。
- ・ USBメモリやSDカードが挿入されている場合はフォルダー/ファイル選択画面(➡ 29ページ)が表示されます。

※地上デジタル放送を受信するには、あらかじめアンテナケーブルの接続や受信チャンネルの設定などが必要です。詳しくは「テレビを視聴する」の章(➡ 31～37ページ)をご覧ください。

※外部入力機器の接続のしかたについては「テレビや外部機器をつなぐ」(➡ 15ページ)をご覧ください。

※AV IN (外部機器入力)に切り替えた際、外部機器からの入力信号が無い場合(外部機器の電源が入っていないなど)は、青い画面が表示されます。

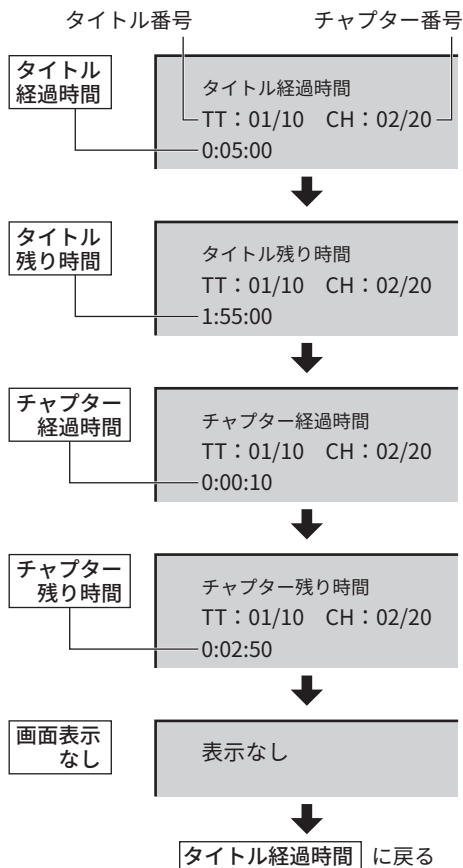
便利な機能

情報を表示する

再生中のディスクの情報を画面に表示できます。

(再生中に)  を押す

ボタンを押すたび、画面が次のように切り替わります。



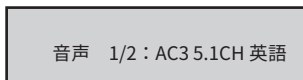
音声を切り替える

複数の音声記録されたDVDビデオを再生する場合に、音声を選択できます。

再生中に  を押す

ボタンを押すたび、音声を切り替えることができます。

画面には音声の番号・種類・音声言語が表示されます。



※複数の音声データが記録されたDVDビデオを再生する際にお使いいただける機能です。

なお、音声の種類および数はソフトにより異なります。

※ディスクによってはこの機能は使えません。

便利な機能

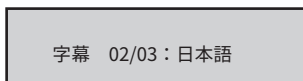
字幕を切り替える

複数言語の字幕が記録されたDVDビデオを再生する場合に、字幕言語を選択できます。

再生中に  を押す

ボタンを押すたび、字幕を切り替えることができます。

画面には字幕の番号・字幕言語が表示されます。



※複数の字幕データが記録されたDVDビデオを再生する際にお使いいただける機能です。

なお、字幕の種類および数はソフトにより異なります。

※ディスクによってはこの機能は使えません。

DVD再生中にできるその他の操作

スロー

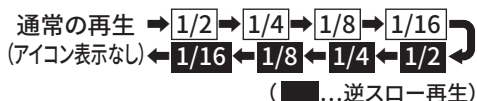
(再生中または一時停止中に)

スロー
 を押す

スロー再生が始まります。
 画面には速度が表示されます。



ボタンを押すたび次のようになります。



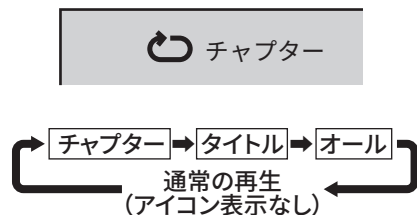
※スロー再生中は、音声が出ません。

再生一時停止
 を押すと通常の再生に戻ります。

リピート

リピート
 を押す

ボタンを押すたび、以下のリピートモードに切り替わります。



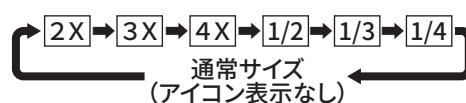
チャプター	選択した“チャプター”がリピート再生されます。
タイトル	選択した“タイトル”がリピート再生されます。
オール	ディスク内のすべてがリピート再生されます。

※ディスクによっては、この機能は使えません。

ズーム

再生中に  を押す

画面には倍率が表示されます。
 ボタンを押すたびに倍率が次のように切り替わります。



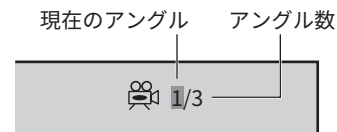
- 拡大表示中は  を押すと、画像を移動することができます。

アングル

異なるアングルが記録された DVD ビデオを再生する場合に、同じシーンを異なるアングルから見ることができます。

再生中に  を押す

ボタンを押すたび、異なるアングルに切り替わります。



※複数アングルの映像が記録された DVD ビデオを再生する際にお使いいただける機能です。
 アングル対応かどうかは DVD ディスクのケースやジャケットでご確認ください。


画面サイズを切り替える

画面のアスペクト比を切り替えます。

画面サイズ

を押す

ボタンを押すたび次のように変わります。

16:9  **4:3**
(ワイド画面サイズ) (従来のテレビ画面サイズ)

液晶画面を消す

CD再生時やテレビ画面への出力時などに、本機の液晶画面表示を消すことができます。

TFT

を押す

ボタンを押すたび液晶画面の表示、非表示が切り替わります。

✓ポイント

スクリーンセーバーについて

モニターの画面焼けを防ぐため、停止状態のまま約4分経過すると、スクリーンセーバー画面に切り替わります。



いずれかのリモコンボタンを押すと、スクリーンセーバーが消え、もとの画面に戻ります。

- スクリーンセーバーを無効にするときは(➡40ページ)

音楽CDを再生する

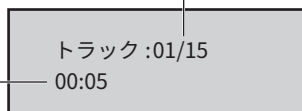
ディスクセットの方法はDVDの場合と同様です(➡17ページ)。

読み込みが完了すると、自動的に再生が始まります。

画面には情報が表示されます。

トラック(曲)番号/総トラック(曲)数

経過時間



再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(➡5ページ)をご覧ください。

CD再生中の操作

CD再生時は以下のリモコン操作がおこなえます。

CD再生中の操作

再生に関する操作

- ・ 曲を選んで再生 (⇒25ページ)
- ・ プログラム再生 (⇒26ページ)

音声を切り替える
(⇒右記参照)

ディスク情報を表示する
(⇒次ページ)

音量の調節

消音

再生に関する操作

- ・ 再生／一時停止
- ・ 停止
- ・ 早送り、早戻し
- ・ 前へ(前の曲へ)
- ・ 次へ(次の曲へ)

リピート
(⇒右記参照)

モード US SD TFT 画面サイズ

1 2 3 音声

4 5 6 字幕

7 8 9 アンクル

0/10 10+ EPG 表示

CH+ 再生

メニュー CH- タイトル 消音

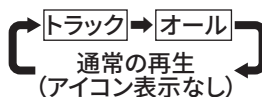
再生し 前へ 次へ 停止 再生し

リピート

リピート

を押す

ボタンを押すたび、以下のリピートモードに切り替わります。



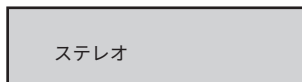
トラック	選択した“トラック(曲)”がリピート再生されます。
オール	ディスク内のすべての曲がリピート再生されます。

音声を切り替える

音声

を押す

ボタンを押すたび、以下の音声モードに切り替わります。



ステレオ	通常のステレオ
モノラル左	左側の音だけが両側のスピーカーから出る
モノラル右	右側の音だけが両側のスピーカーから出る
ミックスモノラル	左右混合のモノラル

便利な機能

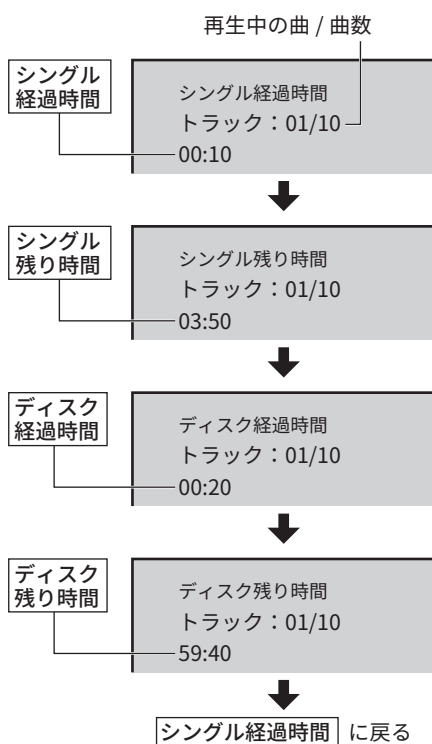
CD再生中の操作 (つづき)

ディスク情報を表示する

再生中のディスクの情報を画面に表示します。

(再生中に)  を押す

ボタンを押すたび、画面が次のように切り替わります。



数字ボタンで 番号を選び再生する

DVD のチャプター番号 (CD の場合はトラック番号) を指定して再生することができます。

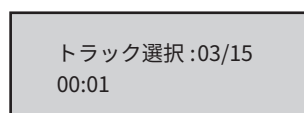
※チャプターがひとつしか無い場合など、ディスクによってはこの機能は使えません。

※無効な数字は入力できません。

再生中に操作するとき

再生したい番号の数字ボタン

( ~ 、) を押す



指定したシーン(トラック)からの再生がはじまります。

例)

「8」のとき	 を押す
「10」のとき	 を押す
「32」のとき	 を3回押し、次に  を押す

MP3/WMA、JPEG ファイルの場合

MP3/WMA ファイル、JPEG ファイルの場合はファイル番号 * を指定して再生できます。

* そのフォルダ内でのファイル番号となります。

●ファイル番号が1～9のとき

 ~  を押す

●ファイル番号が10以上のとき

大きい桁の数字から順に押す

例)

「8」のとき	 を押す
「10」のとき	 を押し、  を押す
「106」のとき	 ・  ・  の順に押す

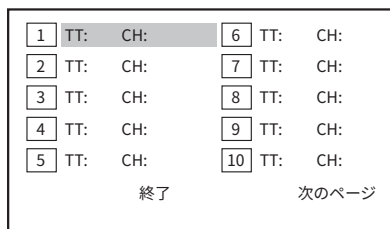
便利な機能

数字ボタンで番号を選び再生する(つづき)

プログラム再生

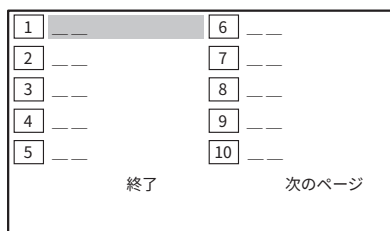
プログラムに設定した順序で再生します。

1 **プログラム EPG** を押す



プログラム設定画面が表示されます。

※ タイトルが1つしか無い DVD またはオーディオ CD では下図のような設定画面になり、チャプター番号またはトラック番号のみを入力します。



2 再生したいタイトル番号を数字ボタン (**1** ~ **0/10**、**10+**) で入力する

カーソルがチャプター番号入力欄に移動します。

3 再生したいチャプター番号を数字ボタン (**1** ~ **0/10**、**10+**) で入力する

カーソルが次のプログラム番号に移動します。

4 2 ~ 3 を繰り返し、プログラムを設定する

5 10 番目の入力完了したら

◀ ▶ で “次のページ” に
▼ でカーソルを合わせ、**決定** または
▶▶ を押す

※ プログラムできる数は 20 までです。

● 前のプログラム設定画面に戻るとき

▲▼◀▶ で “前のページ” にカーソルを合わせ【決定】を押すか【前へ】を押すと戻ります。

● 入力したプログラムを訂正するとき

▲▼◀▶ で入力したプログラムにカーソルを合わせ、再度プログラム入力し【▲▼◀▶】でほかのプログラムにカーソルを移します。

※ 再生開始後のプログラムの訂正はできません。

● プログラム設定画面を閉じるとき

【プログラム】を押すか【▲▼◀▶】で “終了” にカーソルを合わせ【決定】を押します。

6 入力が完了したら **▶▶** で “開始” にカーソルを合わせ **決定** を押す

プログラム再生を開始します。

● プログラム再生中、プログラム設定をすべて消去するとき

【プログラム】を押し、プログラム設定画面に戻し【▲▼◀▶】で “停止” にカーソルを合わせ【決定】を押します。

※ プログラム再生が終了するとプログラム設定は消去されます。

※ 電源を切る、停止ボタンを 2 回押す、ディスクを取り出した場合などはプログラムが解除されません。

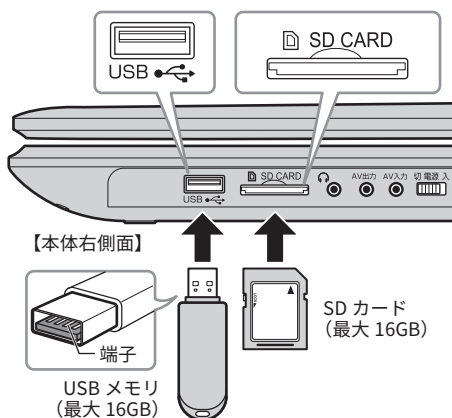
USBメモリ/SDカードやデータディスク内のファイルを再生する

本機はUSBメモリ(最大16GB)やSDカード(最大16GB)、データディスク内に記録された、MP3/WMAファイルおよびJPEG画像を再生することができます。

USBメモリ/SDカードを挿入する

1 本機の電源が「切」の状態、USBメモリ/SDカードを挿入する

本体右側面のUSB端子/SDカードスロットにそれぞれ図の向きで挿入してください。



2 本機の電源を入れる

3 を押して、DVDモードに切り替える


※ 必ずDVDモードに切り替えてください。TV(テレビ)モード、AV IN(外部入力)モードでは、USBメモリ/SDカードを認識できません。

4 を押す

“切換中”の表示が出たあと、フォルダー/ファイル選択画面(→29ページ)が表示されます。

※ USBメモリ/SDカードの両方を挿入している場合はボタンを押すたびにそれぞれのフォルダー/ファイル選択画面が切り替わり表示されます。

※ 切り替えに時間がかかる場合があります。

- ディスク再生に戻るときはもう一度  を押します。
- MP3/WMA、JPEGの再生については、「MP3/WMA・JPEGファイルを再生する」(→29～30ページ)をご覧ください。

メモ

- メディアの優先度はディスク>USBメモリ>SDカードの順番です。

USBメモリ/SDカードを取り出す

再生などの操作を終了し、必ず本機の電源を切ってからUSBメモリ/SDカードを取り出す

便利な機能

USBメモリ/SDカードやデータディスク内のファイルを再生する(つづき)

①ご注意

本機でUSBメモリ/SDカードを使うときは、以下の注意事項を必ずお守りください。誤った使いかたによるデータの損失やUSBメモリ/SDカードの破損などについては一切補償いたしかねます。

- USBメモリ/SDカードの読込中、再生中または動作終了直後に、USBメモリ/SDカードを引き抜いたり、電源を切ったりしないでください。データが破損することがあります。
- 本機で再生できるUSBメモリは最大16GBまで(USB2.0対応)、SDカードは最大16GBまでです。
- 対応フォーマットはFAT32です。
- 本機で再生できるのはMP3/WMA、JPEG形式のファイルのみです。本機が対応していない形式で記録されたファイルを再生しようとする、データが破損することがあります。
- ファイルの記録状態によっては再生できない場合があります。

便利な機能

MP3/WMA(音声)ファイルについて

本機が対応しているビットレートは、MP3で48～320kbps、WMAで48～256kbpsまでです。音質などを維持するため、ビットレート128kbpsを推奨します。

※MP3/WMA形式のファイルであっても、作成方法や作成した機器によっては本機で再生できない場合があります。

※ファイルを保存するUSBメモリ/SDカードやデータディスクにはMP3/WMAファイルとJPEGファイル以外のファイルを記録しないでください。本機で認識できない場合があります。

※「iTunes」でエンコードすると、初期設定では“m4a”という拡張子でエンコードされます。必ず「iTunes」の“環境設定”の“読み込み方法”で“MP3エンコーダ”に設定してください。

*「iTunes」は、米国およびほかの国々で登録されたApple Inc.の商標です。

JPEG(画像)ファイルについて

ファイルサイズによっては表示されるまでに時間がかかることがあります。

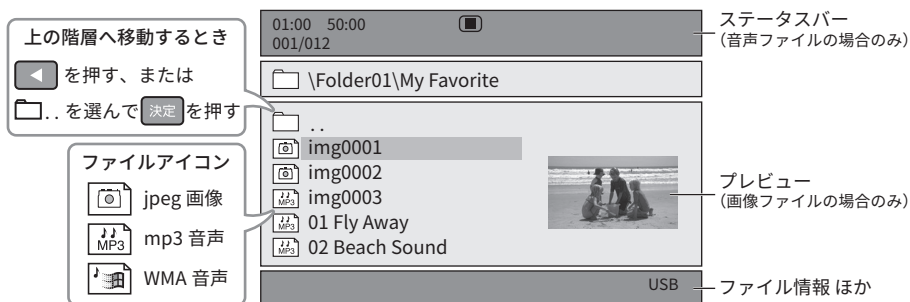
※JPEG形式のファイルであっても、記録方法や作成した機器によっては、本機で再生できない場合があります。

※記録された順序で再生されないことがあります。

USBメモリ/SDカードやデータディスク内のファイルを再生する(つづき)

MP3/WMA・JPEG ファイルを再生する

USBメモリやSDカード、データディスクの読み込みが完了すると、画面にフォルダー／ファイル選択画面が表示されます。



ファイル選択画面では、リモコンボタンで以下の操作がおこなえます。

前へ／次へ	再生中	前／次のファイルに移動し、再生を始めます。
	停止中	ファイル数が多く、画面に表示しきれない場合に、ページ送りをします。
再生／一時停止	選択したファイルを再生します。 JPEGファイルの場合は、選んだ画像からのスライドショーが開始されます。 再生中に押すと一時停止し、もう一度押すと再生を再開します。	
停止	再生を停止します。	
方向 (▲/▼/◀/▶)	カーソルを移動します。	
決定	選択したフォルダーやファイルを確定します。 ファイルを選んでいる場合は再生が始まります。	
リピート	リピートモードを切り替えます。再生中に切り替えることもできます。	
	フォルダー再生	再生中のフォルダー内のファイルを再生する
	シングル再生	再生中のファイルを再生する(リピートしない)
	シングルリピート	再生中のファイルをリピートする
	フォルダーリピート	再生中のフォルダー内のファイルをリピートする
※JPEGファイル再生中は「フォルダー再生」は選択できません。 ※JPEGファイルのリピート再生中はリピート名が表示されます。		
JPEGファイル・MP3/WMAファイルを同時に再生している場合 リピートはJPEGファイル・MP3/WMAファイルに対して設定されます。		
プログラム	フォルダー／ファイル表示とファイルのみの表示を切り替えます。	
音量+/-	音量を調節します。	
消音	音声を一時的に消します。もう一度押すともとの音量に戻ります。	
音声	音声モードを切り替えます。	
	ステレオ	通常のステレオ
	モノラル左	左側の音だけが両側のスピーカーから出る
	モノラル右	右側の音だけが両側のスピーカーから出る
	ミックスモノラル	左右混合のモノラル

便利な機能

USBメモリ/SDカードやデータディスク内のファイルを再生する(つづき)

ファイルの再生中は、それぞれ以下の操作がおこなえます。

MP3/WMA(音声)ファイル再生時の操作

再生中は以下の画面が表示されます。



JPEG (画像)ファイル再生時の操作

スライドショー再生が開始されます。

ズーム

表示中に を押すと、画面が拡大・縮小表示できます。

拡大中は で表示範囲を移動できません。

※ズーム表示中は一時停止状態となります。

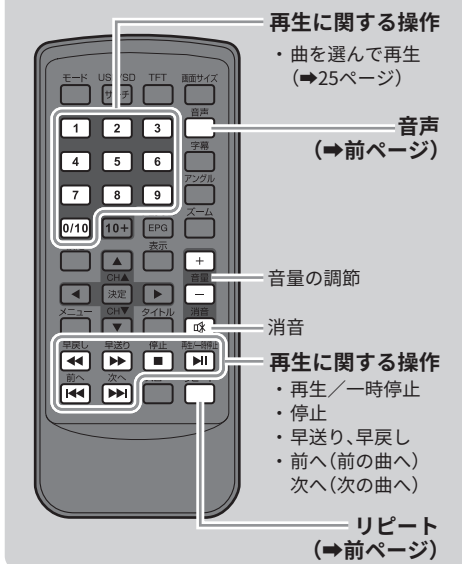
再生を再開するには または を押してください。

画像の回転

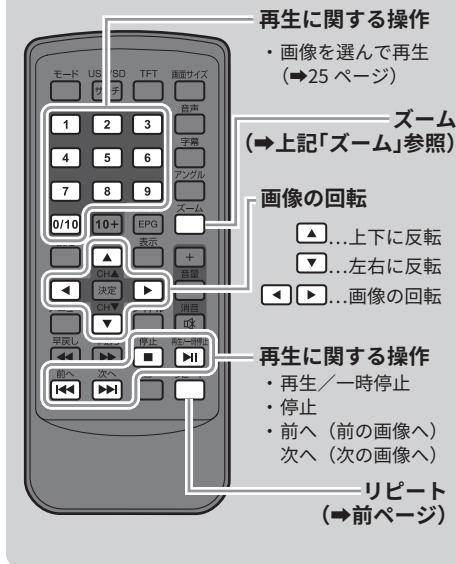
表示中に を押すと、画像を回転または反転して表示できます。

便利な機能

MP3 ファイル再生中の操作



JPEG ファイル再生中の操作



テレビを視聴する

本機は地上デジタル放送のフルセグ、ワンセグ両放送の受信に対応しています。

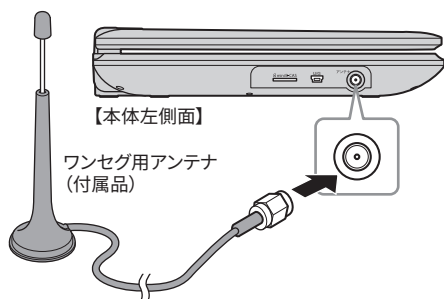
アンテナを接続する

ワンセグ用アンテナをつなぐ

1 電源を切る

2 付属のワンセグ用アンテナを接続する

アンテナ入力端子にアンテナプラグを接続します。



3 アンテナを受信状態のよい場所に置く

アンテナの底面はマグネットになっていますので、金属面にそのまま固定できます。

※ アンテナの先端を伸縮できます。

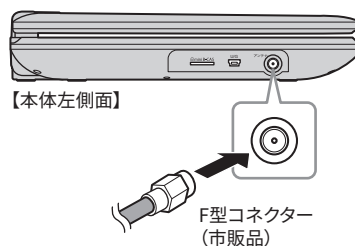
メモ

- 電波状態によっては受信できない場合があります。その際は、窓際など電波状態のよい場所に移動してください。
- 電波状態によってフリーズ、ブロックノイズ、音声不具合などが発生する場合があります。その際は電源を切り、再度入れ直してください。

ご家庭のアンテナケーブルをつなぐ

1 電源を切る

2 本機のアンテナ入力端子にご家庭の地デジアンテナケーブルを接続する



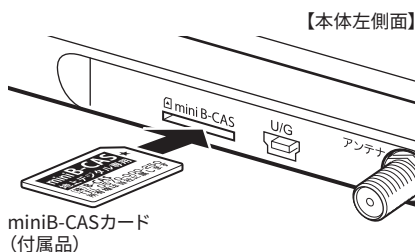
テレビを視聴する

miniB-CAS カードを挿入する

- miniB-CAS カードは地上デジタル放送の受信や、放送局からのさまざまな情報の受信に必要です。常に本機にセットしておいてください。

miniB-CAS カードを挿入する

端子部分が下になるようにして挿入します。



カードを取り出すときは、いったん奥に押し込むとカードが少し飛び出しますので、つまんでゆっくりと引き抜いてください。

テレビを視聴する

① ご注意

miniB-CAS カードは以下の注意事項を必ずお守りください。

- ・ カードの抜き差しは電源を切った状態でおこなってください。
- ・ 地上デジタル放送は著作権保護のため miniB-CAS カードが挿入されていないと視聴することができません。
- ・ miniB-CAS カードに関する不明な点は B-CAS カスタマーセンター TEL 0570-000-250 へお問い合わせください。

基本的な使いかた

TV (テレビ)モードに切り替える

1 本機の電源を入れる

2 を押して、テレビモードに切り替える

※ 起動直後やディスクの読み込み中などは、切り替えに時間がかかることがあります。

地上デジタル放送視聴の準備

ご購入後はじめてお使いのときは、テレビモードに切り替えると、チャンネルスキャンおよびチャンネルプリセットが始まります。



チャンネルプリセットが完了すると、テレビ視聴画面になります。



基本的な使いかた (つづき)

チャンネルを選ぶ

チャンネルの選びかたには以下の方法があります。

※チャンネル切り替え時に音声途切れることがありますが、故障ではありません。

順送りで選ぶ



チャンネル番号を入力して選ぶ

数字ボタン(**1** ~ **0/10**)で視聴したいチャンネル番号を押す

※チャンネルが切り替わるまで数秒かかります。

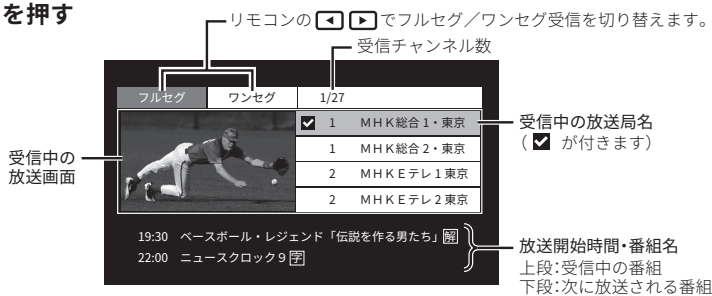
※無効な数字を入力したときはチャンネルは切り替わりません。

チャンネルリストから選ぶ

詳しくは下記「チャンネルリストで番組を選ぶ」をご覧ください。

チャンネルリストで番組を選ぶ

1 **表示** を押す



テレビを視聴する

チャンネルリストが表示されます。

※チャンネルリストの表示を消してもとの画面に戻るには **停止** を押してください。

2 **CH▲** **CH▼** でチャンネルを選び **決定** を押す

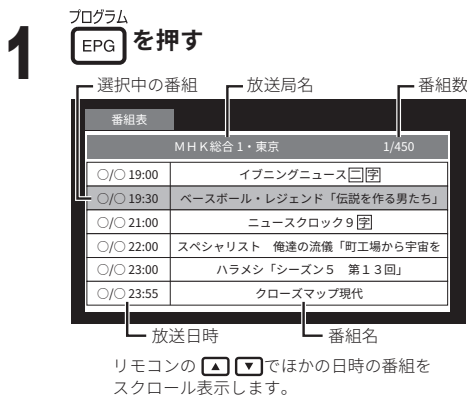
選んだチャンネルに **☑** が付き、画面左側にそのチャンネルで現在放送されている番組が表示されます。

3 選んだ番組を視聴するには **停止** を押す

選んだチャンネルに切り替わり、放送番組が全画面表示されます。

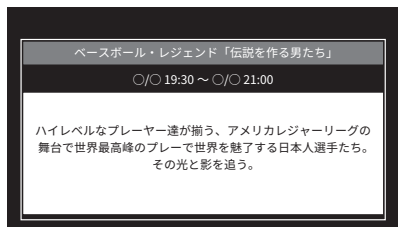
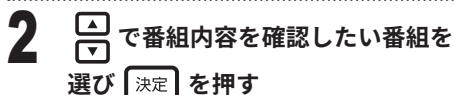
基本的な使いかた(つづき)

番組表・番組内容を表示する

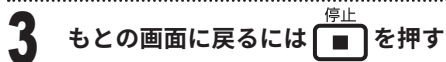


番組表が表示されます。

- ※ 番組表のデータ取得には時間がかかります。
- ※ 番組表の取得中、および番組表・番組内容の表示中は、映像が出ません。



選んだ番組の番組内容が表示されます。



番組表が表示されます。
もう一度押すとテレビ視聴画面に戻ります。

- ※ 番組表および番組内容画面から番組を選んで視聴することはできません。

音声を切り替える

主/副音声またはステレオ放送を視聴する場合、音声の切り替えができます。



ボタンを押すたび、主/副音声またはステレオ/モノラルに切り替わります。

※ 番組によってはこの機能は使えません。

※ 押すたびに画面上部のアイコン表示 (**音声**) が切り替わります。

字幕を切り替える

字幕表示のできる番組を視聴する場合、字幕ありと字幕なしの切り替えができます。



ボタンを押すたび、第1言語・字幕なしに切り替わります。

※ 番組によってはこの機能は使えません。

※ 押すたびに画面上部のアイコン表示 (**字幕**) が切り替わります。

チャンネルスキャンをする

例えば旅行先への持ち出しなどで、受信できる放送局(受信エリア)が変更になったときなどは、チャンネルスキャンをおこなってチャンネルを登録します。

USB/SD



チャンネルスキャンがおこなわれ、現在受信できる放送局が登録されます。
スキャンが完了すると、一番若いチャンネル番号の放送局の番組が表示されます。

地上デジタル放送の設定をする

基本的な操作のしかた

- 1 地上デジタル放送視聴中に
設定
□を押す

テレビモードの設定画面が表示されます。



リモコンの [] でスクロールすると表示されます。

- 2 [] [CH▲] [CH▼] でメニュー項目を選び [決定] を押す

※ メニューにより、パスワード入力画面が表示されるなど、操作手順が異なります。

- 3 サブメニュー項目や設定値を [] [CH▲] [CH▼] で選び、 [決定] を押す

設定が反映され、前の画面に戻ります。

- 4 設定画面を終了するには [停止] を押す

各項目(「デバイス情報」を除く)については次ページ以降に詳しい説明を記載しています。

メインメニュー	設定の内容	
受信方法設定	受信方法設定	受信方法を設定します。
	ワンセグ	ワンセグ放送を受信します。
	フルセグ	地上デジタル放送(フルセグ放送)を受信します。
	自動	電波の受信状況に応じて、地上デジタル放送(フルセグ放送)とワンセグ放送を自動的に切り替えます。
フルスキャン	チャンネルスキャンをおこないます。	
言語	テレビ画面の表示言語を英語または日本語に切り替えます。	
映像設定	明るさ	画面の明るさを設定します。【設定値：0～20】
	コントラスト	画面のコントラストを設定します。【設定値：0～20】
PG 設定	年齢設定により、子供に見せたくない番組の視聴を制限します。	
パスワード変更	「PG 設定」「工場初期化」の設定に必要なパスワードの設定を変更します。	
デバイス情報	B-CAS カード、地上デジタルチューナーの情報を表示します。	
工場初期化	テレビモードの設定を工場出荷時の設定に戻します。	

テレビを視聴する

地上デジタル放送の設定をする(つづき)

受信方法設定

電波の受信状況に応じてワンセグ放送とフルセグ放送を自動的に切り替えるか、電波の受信状況に関わらずワンセグ放送、またはフルセグ放送のいずれかに固定するかを設定します。

設定のしかた

1 「受信方法設定」を選んで

を押す

2 設定値を選んで を押す

ワンセグ	ワンセグ放送を受信します。
フルセグ	地上デジタル放送(フルセグ放送)を受信します。
自動	電波の受信状況に応じて、地上デジタル放送(フルセグ放送)とワンセグ放送を自動的に切り替えます。

設定が反映され、前の画面に戻ります。

3 設定画面を終了するには を押す

フルスキャン

受信できる放送局をスキャンし、チャンネルを登録します。

「フルスキャン」を選んで を押す

チャンネルスキャンが始まります。スキャンが完了すると、一番若いチャンネル番号の放送局の番組が表示されます。

言語

テレビモード選択中の表示言語を、英語または日本語に切り替えます。

※設定メニューおよび番組表、チャンネルリストの一部が対象となります。

※番組表内の番組名や番組内容など、放送局から送られる情報は日本語表記のままです。

設定のしかた

1 「言語」を選んで を押す

2 「英語」または「日本語」を選んで を押す

設定が反映され、前の画面に戻ります。

3 設定画面を終了するには を押す

映像設定

テレビ視聴時の画面の明るさ・コントラストを調節できます。

設定のしかた

1 「映像設定」を選んで を押す

設定画面が表示されます。

2 設定したい項目(「明るさ」または「コントラスト」)を選んで を押す

放送画面に切り替わり、画面にインジケータと現在の設定値が数値で表示されます。

3 を押して調節する

※3秒程何も操作をおこなわないと、視聴画面に戻ります。その場合は再度設定画面を開き、手順1から操作してください。

地上デジタル放送の設定をする(つづき)

PG 設定(視聴年齢制限設定)

年齢設定により、子供に見せたくない番組の視聴を制限します。

※番組によってはこの機能は使えません。

設定のしかた


1 「PG 設定」を選んで **決定** を押す
パスワード入力画面が表示されます。

2 数字ボタン(**1** ~ **0/10**)で
パスワードを入力する
※ 初期設定のパスワードは「666888」です。

3   で設定値を選んで
決定 を押す

PG -	視聴年齢制限を設定しません(全年齢視聴可)。
PG 4 ~ PG 18	末尾の数字は制限する年齢を表します。

設定が反映され、前の画面に戻ります。

4 設定画面を終了するには  を押す

パスワード変更

パスワードを変更します。

※パスワードは「PG 設定」「工場初期化」の各設定時に入力が必要となります。

※新しく設定したパスワードは、メモをするなどして忘れないように注意してください。


設定のしかた


1 「パスワード変更」を選んで **決定** を押す
パスワード入力画面が表示されます。

2 数字ボタン(**1** ~ **0/10**)で
現在のパスワードを入力する

※ 初期設定のパスワードは「666888」です。

3 数字ボタン(**1** ~ **0/10**)で
新しいパスワードを入力する

※ 変更しない場合は、 を押すと前の画面に戻ります。

4 設定画面を終了するには  を押す



工場初期化

テレビモードに関する設定を工場出荷時の状態に戻します。

設定のしかた

1 「工場初期化」を選んで **決定** を押す
パスワード入力画面が表示されます。

2 数字ボタン(**1** ~ **0/10**)で
パスワードを入力する
確認画面が表示されます。
※ 初期設定のパスワードは「666888」です。

3 初期化をするには   で
「はい」を選んで **決定** を押す

設定が初期化され、チャンネルスキャンが始まります。
スキャンが完了すると、一番若いチャンネル番号の放送局の番組が表示されます。

テレビを視聴する

設定を変える

設定メニューを開く・操作する

設定メニューでは、画質や音声などのさまざまな設定ができます。

メニュー画面の見かた

メニュー画面は以下のようになっています。

画面レイアウトについて

例：「一般設定」の「テレビ表示」を選択した状態

カーソルの表示色について

例：「一般設定」の「テレビ表示」で「4:3/PS」を選択した状態

設定を変える

ボタン操作について

「操作・設定のしかた」(⇒次ページ)も併せてご覧ください。


① ◀ ▶ で選ぶ

② ▲ ▼ で移動し、
決定 で項目選択

③ ▲ ▼ で選び、
決定 で確定

設定メニューを開く・操作する (つづき)

設定メニューを開く

(DVD モードのときに)  を押す

一般設定	音声設定	デジタル	映像設定	選択
一般設定ページ				
テレビ表示	16:9			
アングルマーク	オン			
画面表示言語	日本語			
スクリーンセーバー	オン			
ラストメモリー	オン			

「一般設定」メニューが表示されます。

設定メニューを終了するには

(設定メニュー表示中に)  を押す

メモ

- 電源を入れた直後や、ディスク・メディアの読み込み中は、ボタンを押しても反応しない場合があります。この場合はしばらく待ってから再度操作をおこなってください。

① ご注意

- ディスクやメディアの再生中は、「選択」設定を選ぶことができません。「選択」設定は、再生を完全に停止した状態、またはディスクやメディアを挿入していない状態にしてからおこなってください。

操作・設定のしかた

メニューの操作や設定は次のようにおこないます。

「メニュー画面の見かた “ボタン操作について”」(➡前ページ)も併せてご覧ください。

① メインメニューを選ぶ

「サブメニュー」を選んでいない(緑色のカーソルが何も表示されていない)状態で

  を押す





「メインメニュー」欄のカーソルが移動し、「サブメニュー」欄の表示が切り替わります。

② サブメニューの項目を選ぶ

  を押す

項目を選ぶたび「設定値」欄の表示が切り替わります。

③ 「設定値」を選び、選んだ項目を確定する

-  を押して「設定値」欄にカーソルを移動する
-   で設定値を選ぶ
-  を押して確定する

設定を変える

一般設定




一般設定	音声設定	デジタル	映像設定	選択
一般設定ページ				
テレビ表示	16:9			
アングルマーク	オン			
画面表示言語	日本語			
スクリーンセーバー	オン			
ラストメモリー	オン			

テレビ表示

接続するテレビ画面の種類を設定します。

メモ

- この設定の内容は、ディスクの記録状態や接続しているテレビによっても異なる場合がありますので、お好みに合わせて設定してください。

4:3/PS	<p>横縦比 4:3 パンスキャン画面に設定する</p> <p>※ワイド画像は映像の左右部分がカットされ見えません。</p> 
4:3/LB	<p>横縦比 4:3 レターボックス画面に設定する</p> <p>※ワイド画像はすべて映りますが上下が黒い画面になります。</p> 
16:9	<p>横縦比 16:9 のワイド画面に設定する</p> 

設定を変える

アングルマーク

複数台のカメラで撮影したソフトを再生する場合は、アングルを変えて見ることができます。

オン	機能を有効にする
オフ	機能を無効にする

※ディスクによっては、この機能は使えません。

画面表示言語

設定メニューなどの画面に表示される言語を設定します。

設定値	英語/日本語
-----	--------

スクリーンセーバー

モニターの画面焼けを防ぐため、停止状態のまま約4分間経過するとDVDロゴを画面上で動かします。

オン	機能を有効にする
オフ	機能を無効にする

ラストメモリー

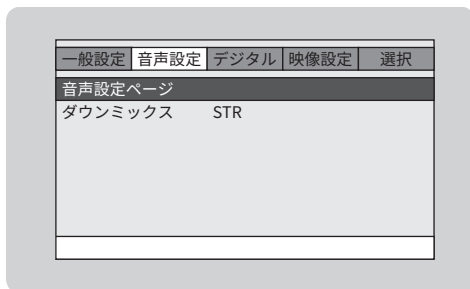
停止、または電源を切ったときのディスクの場所を記憶し、次に電源を入れたときに、そこから再生します。

オン	機能を有効にする
オフ	機能を無効にする

メモ

- ディスクによっては数秒のずれが生じる場合があります。

音声設定

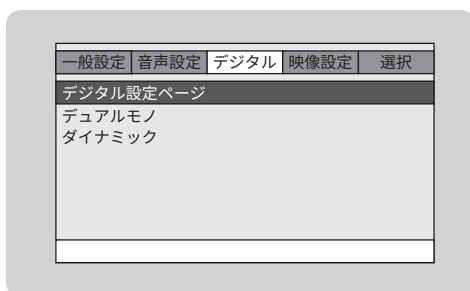


ダウンミックス

5.1 チャンネルなどのマルチチャンネルで記録されたディスクの音声信号を、フロント 2 チャンネルに変換して再生します。

LT/RT	ダウンミックスモード
ステレオ	通常のステレオ

デジタル設定



デュアルモノ

音声多重の DVD を再生した際の音声再生方法を選択します。

ステレオ	通常のステレオ
モノラル左	左側の音だけが両側のスピーカーから出る
モノラル右	右側の音だけが両側のスピーカーから出る
ミックスモノラル	左右混合のモノラル

ダイナミック

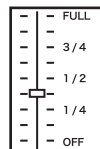
ドルビーデジタルのディスクを再生するとき、音量の幅を設定し迫力を調節します。

設定値	OFF ~ FULL
-----	------------

設定のしかた

1

決定 を押す



カーソルが茶色→黄色に変わります。

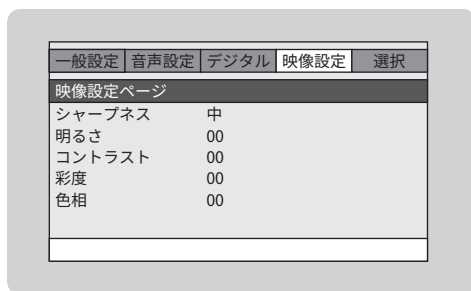
2



で調節し **決定** を押す

設定を変える

映像設定



シャープネス

画面の鮮明度を設定します。

設定値 高/中/低

明るさ

画面の明るさを設定します。

設定値 - 16 ~ + 16

コントラスト

画面のコントラストを設定します。

設定値 - 16 ~ + 16

彩度

画面の鮮やかさを設定します。

設定値 - 9 ~ + 9

色相

画面の色合いを設定します。

設定値 - 9 ~ + 9

設定を変える

設定のしかた

1 決定 を押す

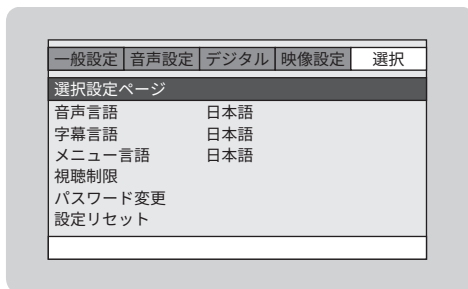
明るさ 0

設定画面が表示されます
(画面は「明るさ」の場合)。

2 ◀ ▶ で調節し 決定 を押す

設定が反映され、ひとつ前の画面に戻ります。

選択設定



❗ご注意

- ディスクやメディアの再生中は、「選択」設定を選ぶことができません。
「選択」設定は、再生を完全に停止した状態、またはディスクやメディアを挿入していない状態にしてからおこなってください。

音声言語

DVD 再生時に選択できる音声を設定します。
 ※ディスクにより切り替わらない場合があります。
 ※ディスクのメニューで設定をおこなってください。
 (ディスクメニューで設定した言語が優先されます。)

設定値	英語／フランス語／スペイン語 ／中国語／日本語／韓国語／ロシア語／タイ語
-----	-----------------------------------------

字幕言語

DVD 再生時に選択できる字幕言語を設定します。
 ※ディスクにより切り替わらない場合があります。
 ※ディスクのメニューで設定をおこなってください。
 (ディスクメニューで設定した言語が優先されます。)

設定値	英語／フランス語／スペイン語 ／中国語／日本語／韓国語／ロシア語／タイ語
-----	-----------------------------------------

メニュー言語

DVD 再生時に表示されるメニューの表示言語を設定します。

- ※ディスクにより切り替わらない場合があります。
- ※ディスクのメニューで設定をおこなってください。
(ディスクメニューで設定した言語が優先されません。)

設定値	英語／フランス語／スペイン語 ／中国語／日本語／韓国語／ロシア語／タイ語
-----	-----------------------------------------

視聴制限

子供に見せたくないソフトなどを制限する機能です。

- ※この機能を備えた DVD ディスクのみ設定が有効となります。

1 KID SAFE	子供に安心して見せられる
2 G	保護者の指導なしで見せられる、一般向け映画
3 PG	父兄・保護者同伴
4 PG13	13 歳以下は親同伴
5 PGR	15 歳以下は親同伴
6 R	17 歳以下は親同伴
7 NC17	17 歳未満は視聴禁止
8 ADULT	成人向けの内容



設定を変える

選択設定 (つづき)

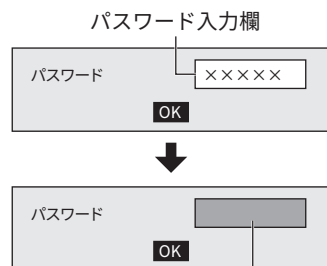
「視聴制限」の設定のしかた

- 1   で設定値を選び
 を押す

パスワード入力画面が表示されます。

- 2 数字ボタン( ~ )で
パスワードを入力する

※ 初期設定のパスワードは「888888」です。



パスワードの最後の1字を
入力すると、入力欄が黒色になります。


- 3  を押して設定ページに戻る

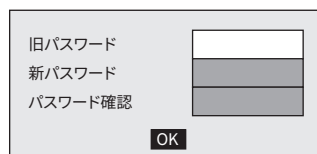
設定を変える

パスワード変更


「視聴制限」の設定時に必要なパスワードを設定、変更できます。

設定のしかた

- 1 「パスワード変更」を選んで  を押す



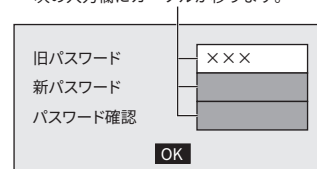
パスワード入力画面が表示されます。

- 2 数字ボタン( ~ )で
旧パスワード、新パスワードをそれぞれ入力する

※ 初期設定のパスワードは「888888」です。

再確認のため、新パスワードを「パスワード確認」欄に再入力します。

パスワード入力欄
パスワードの最後の1字を入力すると、
次の入力欄にカーソルが移ります。



- 3  を押して設定ページに戻る

設定リセット

工場出荷時の設定に戻ります。

その他

困ったときは

使用方法を間違えると、次のような症状が起こり、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に、下表で確認してください。それでも症状が改善されない場合はお買い上げの販売店、または弊社お客様サポートセンター（➡裏表紙）までご相談ください。

電源関連

症状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない、入ってもすぐ切れる	<ul style="list-style-type: none">ACアダプタが抜けている。ACアダプタが抜けかかっている。	<ul style="list-style-type: none">ACアダプタをコンセントにしっかりと差し込んでください。

リモコン関連

症状	考えられる原因	対処方法
リモコンが操作できない	<ul style="list-style-type: none">電池の極性(+/-)が間違っている。	<ul style="list-style-type: none">電池の極性(+/-)を確認し、正しく入れてください。
	<ul style="list-style-type: none">電池が消耗している。	<ul style="list-style-type: none">新しい電池と交換してください。
	<ul style="list-style-type: none">リモコンを本体のリモコン受光部に向けていない。	<ul style="list-style-type: none">本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
	<ul style="list-style-type: none">リモコンの受光範囲を超えている。	<ul style="list-style-type: none">受光範囲内で操作をしてください。

操作・再生関連

症状	考えられる原因	対処方法
再生できない (次ページに続く)	<ul style="list-style-type: none">ディスクが入っていない。ディスクカバーが閉まっていない。	<ul style="list-style-type: none">オープンボタンをスライドさせて確認してください。
	<ul style="list-style-type: none">ディスクが裏返しに入っている。	<ul style="list-style-type: none">レーベル面を上にして入れてください。
	<ul style="list-style-type: none">ディスクがキズついているか、汚れている。	<ul style="list-style-type: none">ディスクを交換するか、汚れを取り除いてください。
	<ul style="list-style-type: none">ディスクの機械部が結露状態になっている。	<ul style="list-style-type: none">ディスクを取り出し、1時間ほどそのままにしてください。

困ったときは (つづき)

症状	考えられる原因	対処方法
再生できない (前ページより続き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ リージョンコードが合っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本機では“2”または“ALL”以外には対応していません。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファイナライズ処理されていない DVD-R ディスクが入っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本機ではファイナライズ処理されていない DVD-R ディスクは再生できません。 ※ 録画機側でファイナライズ処理をおこなってください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一時停止状態になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再生 / 一時停止ボタンを押してください。
画像ファイル・音声ファイルが再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再生できるファイル形式で記録されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファイル形式を確認してください。本機で再生できるファイル形式は MP3/WMA、JPEG ファイルだけです。 ※ MP3/WMA、JPEG ファイルであっても作成方法や作成した機器によっては本機で再生できない場合があります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 容量 (16GB) を超えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本機で使用できる外部メモリの容量は USB メモリ・SD カードとも 16GB 以下です。
ディスクが入っているのに“ディスクがありません”と表示が出る	<ul style="list-style-type: none"> ・ ディスクが裏返しに入っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ レーベル面を上にして入れてください。
画像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本機で再生できないディスクが入っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本機で再生できるディスクを入れてください。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消音、または音量が「0」になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音量を確認してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ AV ケーブルが抜けている。(AV ケーブルで接続している場合) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正しく接続されているか確認してください。
音がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設定が間違っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設定を確認してください。
画像が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> ・ AV ケーブルが抜けている。(AV ケーブルで接続している場合) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正しく接続されているか確認してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早送り、もしくは早戻し再生をおこなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早送り / 早戻し再生のときは画像が乱れます。

その他

困ったときは (つづき)

症状	考えられる原因	対処方法
一時停止、リピート再生が実行できない	<ul style="list-style-type: none"> これらの機能が使用できないディスクを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> これらの機能が使えないディスクがあります。
音声言語や字幕言語を変更できない	<ul style="list-style-type: none"> ディスクに複数の言語が記録されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ディスクにより1つの言語だけのものがあります。

地上デジタル放送関連

症状	考えられる原因	対処方法
テレビの映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ご使用の地域で放送がおこなわれていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 放送エリア内でお使いください。
	<ul style="list-style-type: none"> 電波状態が悪い。 	<ul style="list-style-type: none"> アンテナを調節してください。
	<ul style="list-style-type: none"> チャンネルが地域に合っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> チャンネル設定をしてください。
	<ul style="list-style-type: none"> 本機のモードが“TV”以外になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【モード】で“TV”に切り替えてください。
字幕が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 視聴している番組が字幕表示に対応していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 対応していない番組では字幕の機能はありません。
音声が切り替わらない	<ul style="list-style-type: none"> 視聴している番組が音声多重に対応していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 対応していない番組では音声切り替えの機能はありません。

おもな仕様

品名	14 型フルセグ対応ポータブル DVD プレーヤー		
品番	EA-PD14FSA		
電源	専用 AC アダプタ	入力	AC100-240V 50/60Hz
		出力	DC12V 2A
	専用カーアダプタ	入力	DC12V
		出力	DC12V 1.5A
	内蔵充電電池(バッテリー)	リチウムイオン電池 7.4V 2500mAh	
		充電時間	約 3 時間 30 分(電源切状態)
連続使用可能時間		DVD 再生時: 約 3 時間 フルセグ放送視聴時: 約 3 時間	
消費電力	14W (AC アダプタ使用時)		
出力端子	AV 端子、イヤホン端子		
入力端子	AV 端子、アンテナ端子、USB 端子、SD カードスロット、miniB-CAS カードスロット		
再生可能ディスク	DVD、DVD-R、DVD-RW、CD、CD-R、CD-RW		
対応フォーマット	DVD-Video、DVD-VR (CPRM)、CD-DA、MP3、WMA、JPEG		
メディア最大容量	USB2.0 対応 USB メモリ: 最大 16GB、SD カード: 最大 16GB		
液晶画面	14 型		
液晶画面画素数	横 1366 ピクセル×縦 768 ピクセル		
受信周波数	UHF 放送 13 ~ 62ch ※ワンセグ放送対応		
許容温度範囲	5 ~ 35°C		
信号方式	NTSC		
AC アダプタコード長	約 1.5m		
外形寸法	約 342 (W) × 235 (D) × 50 (H) mm		
本体質量	約 1575g		
付属品	リモコン (動作確認用コイン形電池: CR2025 含む)、AC アダプタ、カーアダプタ、AV ケーブル、ワンセグ用アンテナ、miniB-CAS カード、取扱説明書、保証書		
製造国	中国		

※外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

※本製品は日本国内でご使用いただくために設計・製造されたものです。

その他

免責事項

- ※地震や雷などの自然災害および弊社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- ※本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中断など)に関して、弊社は一切責任を負いません。
- ※取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- ※弊社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤操作などから生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。

DVD/CD について

- ※DVD、CDの使用から生じるキズや汚れに関して、弊社は一切責任を負いません。

データについて

- ※MP3/WMA ファイルや JPEG ファイルで大切なデータはパソコンなどにバックアップをとっておくことをおすすめします。本機で使用するによって、万一何らかの不具合が生じた場合、データの損失や記録できなかったデータの補償、およびこれらに関わるその他の直接・間接の損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- ※誤った使いかたをするとデータが破損・削除されることがあります。記録されたデータの破損・削除については、故障や損害の内容・原因に関わらず、弊社は一切責任を負いません。

メモ

メモ

アフターサービス

- 万一、本体を落としたり、破損した場合は、点検修理を依頼してください。(有料)
- 本製品は家庭用です。業務用としては使用しないでください。
- 本製品以外に間接の損害が生じた場合、不具合の原因が本製品であっても補償は致しかねます。

保証書

本製品には保証書が付いています。保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただいたあと、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

修理を依頼するとき

保証期間中は

製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に従って無料修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

弊社お客様サポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

アフターサービスについてご不明な場合

アフターサービスについてご不明な場合には、弊社お客様サポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

高温に対するご注意

とくに夏場での窓を閉めきった自動車内や直射日光の当たる所、暖房器具の近くには放置しないでください。高温により変色や故障の原因になります。

- お問い合わせの際は「製品名」・「品番」・「症状」をご確認のうえ、お伝えください。

製品名	14 型フルセグ対応ポータブル DVD プレーヤー	品番	EA-PD14FSA
-----	---------------------------	----	------------

製品に関するお問い合わせは

株式会社アズマ
お客様サポートセンター

フリーダイヤル **0120-00-8984**

受付時間 午前 10 時～午後 5 時 (土・日・祝祭日および弊社指定休業日を除く)

- ・ 本書に記載された内容の一部または全部を弊社に無断で転載・改変・複写・複製することを禁じます。
- ・ 改良のため、製品の仕様や外観、および本書の内容を予告なく変更することがあります。